

# 哲学、社会教育の場から憩いの場所に

## （歴史と貴重な自然あふれる哲学堂公園）

中野区内の公園の中でも古くから歴史があり、東京都の名勝指定を受ける哲学堂公園。もともとは哲学者井上田了博士が哲学、社会教育の場として創設したのが始まりでした。井上田了博士の構想に基づく哲学をテーマに創作され、園内には多くの歴史的建造物も見られるなど、他に例を見ない公園としても知られています。また、個性あふれる公園としてだけでなく季節感を感じるみどり豊かな公園として区民の憩いの場として親しまれています。



### 哲学の世界観残る園内

中野区立哲学堂公園は、哲学者で哲学館（現在の東洋大学）を創立した井上田了博士が明治37年に哲学や社会教育の場として開設したのが始まりです。

井上田了博士は、哲学堂の名前の起こりとなる「四聖堂」の落成に始まり、「硯塚」の建設に至るまで、さまざまな建造物、石造物、池沼、植物、空間

等により、私たちの存在の根源である物と心の世界を視覚的に表現した哲学堂77場をつくり、人間としての生き方、考え方を学ぶ修養場としていきました。

その後、昭和21年に都立公園として開園され、昭和50年からは中野区立公

## 生き方、考え方を学ぶ修養場だった

園となりました。園内には四聖堂のほか、哲理門、六賢台など古建築物12棟があり、公園自体が平成21年に東京都名勝に指定され、全国に例を見ない個性的な公園として区民に親しまれています。

また、園内には哲学をモチーフにしたワグナー・ナンドールの「哲学の庭」が展示されるなど公園全体が哲学を体感出来るようになっていきます。

公園の規模は5万2494・08㎡と都内でも有数の広さを誇ります。野球場やテニスコートも設置され、公園では珍しい弓道場も設置されています。

# 哲学堂公園の魅力

## 哲学堂77場めぐりで哲学を体感

哲学堂公園内は高低差のある地形になつており、自然立地を生かした景観と空間の構成から創設時の哲学堂の面影を感じることができます。

例えば、四聖堂等の建物は台地にある時空岡に配置され、精神修養の場としての当時は偲ばせません。

また、唯物園、唯心庭などのような精神世界を空間によって体感できる場所も見ることができます。

園内の古建築物では、特に四聖堂の見学者が多く、そのほかに催事会場として多く使用される宇宙館や無尽蔵、集会場に利用される髑髏庵（霊明園）、主観亭、客観廬（休憩所として利用）が人気の場となっています。

また、井上円了博士は当時の著書である「哲学堂独案内」で哲学堂77場の名称と順路を示しました。哲学の概念を具現化し、体系的に順路を設けて77場を配置しているのです。一般の人々もその順路を巡ることで博士が意図していた哲学思想を体験できます。

哲学堂は、園全体が人の存在の根源

として物と心の世界を表現しています。初めて園内を巡る人は、物を表す「唯物園」、精神世界を表す「唯心庭」、それらを支える空間と時間を象徴する「時空岡」の3つの空間を訪ねることで、人と宇宙の根源を感じられます。

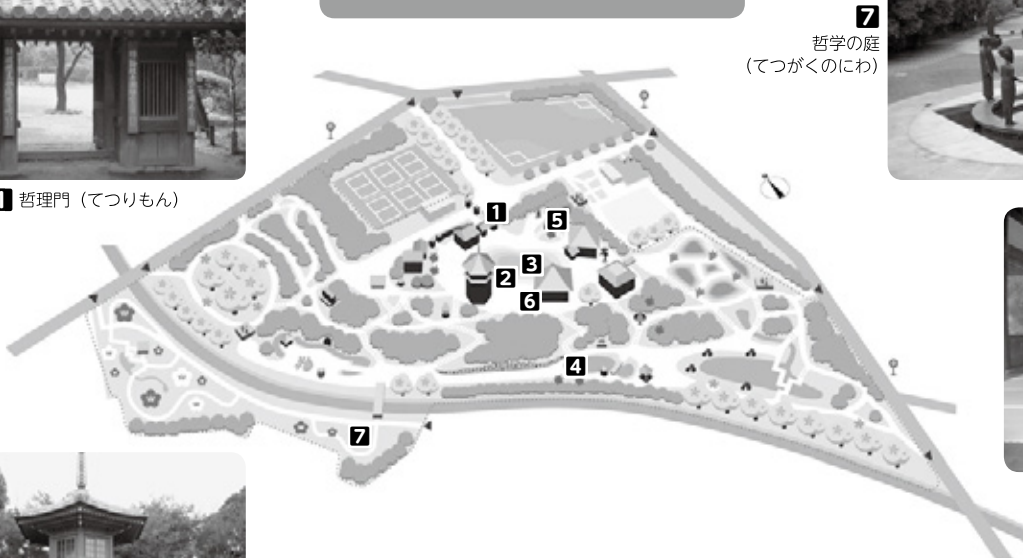
## 花の名所としての魅力

哲学堂公園はそのほかにさまざまな場所所で精神修養の場を偲ばせるだけでなく、みどり豊かな環境から区内でも有数の花の名所となっており、多くの人たちに親しまれています。

1月から2月までは、川を隔てた梅林に桃の花や梅の花が、3月下旬から4月中旬頃までは、さくらの広場を中心に公園のいたる所で桜を楽しむことが出来ます。花見客も多く来園します。4月から5月まではつつじ園のつつじが満開になります。そして、5月から6月までは、菖蒲園の菖蒲、園内の紫陽花も見頃になります。

秋口には、園内の木々が紅葉し、楽しませてくれます。こうした自然豊かで季節の移ろいを感じられる点も哲学堂公園の大きな魅力と言えるでしょう。

## 哲学堂公園の全体図



1 哲理門（てつりもん）



7 哲学の庭  
（てつがくのにな）



2 六賢台（ろっけんたい）



6 四聖堂（しせいどう）  
の内部



3 時空岡（じくうこう）



4 唯心庭（ゆいしんてい）



5 三学亭（さんがくてい）



# 歴史的価値との共存

公園を知ることができる  
さまざまなイベント

園内ではさまざまなイベントが行われ、哲学堂公園を深く知ることができます。その中で代表的なものが公園内の古建築物の月例公開（毎月第1日曜日）です。

園内の代表的な建築物、四聖堂・六賢台・宇宙館・絶対城・無尽蔵の5棟

季節により色々な花を楽しめる哲学堂公園。  
緑豊かな環境は都会の憩いの場だ



初春の梅林



春の桜、花見に来園する人も多い



きれいに咲き誇るつつじの花



秋の紅葉で色づく木々

（四聖堂・絶対城は建物保全のため入場不可）が公開されており、哲学堂の世界を体験できます。

また、春（ゴールデンウィーク期間）と秋（10月と東京都文化財ウィーク期間の土日祝日）には古建築物特別公開も行われています。

哲学にちなんだイベントでは、哲学堂公園や創設者井上円了博士に関して学ぶ哲学堂公園講座や、井上円了博士

の哲学観を具現化した哲学堂77場について解説する公園ガイドなどを開催しています。

11月の第1土曜日には井上円了博士の遺言により、東洋大学が開催（公園主催ではないイベント）する哲学堂祭があり、四聖堂に祀られる哲学者をテーマ

とした公開講話も実施されており人気となっています。

## 保存管理を進め、より一層の憩いの場に

哲学堂公園では今後、古建築物の修復や植生の更新などを進めていき、井上円了博士が哲学堂を創建した明治・大正時代当時の景観に近づけようとしています。一方で、木造建築物は建てられてから100年以上経っているため、著しい老朽化やシロアリによる被害も見つかったことから、早急に修復を行う必要があります。

そのため、区では「哲学堂公園保存管理計画」を定め、取り組んでいます。まず、唯物園の重要な構成要素であり、経年による崩落が進行している「神秘洞」の修復と周辺地域の整備を進めているところです。

さらに、地域連携事業として区民が公園運営に参画するパーククラブ活動や、公園内の花修景を区民協働で行うふれあい区民花壇などの活動も行われ、歴史的文化的な場所を維持しつつ、みどり豊かな環境を保とうとしています。これからも区民や来園者に愛される

憩いの場になるよう、哲学堂公園は変わろうとしています。

## 哲学堂公園で行われるイベント

- 月間定例の催し 古建築物の月例公開、哲学堂辻講釈、公園ガイド、ベースボールアカデミー、スポーツ吹矢体験教室、たのしい健康体操教室、ママフィットなど
- 年間定期の催し 春・秋の古建築物特別公開、植物観察会、廃材クラフト、哲学堂公園講座、スポーツ鬼ごっこ大会、茶の湯体験・お茶処、怪談の夕べ、東日本大震災復興支援チャリティーイベントなど
- 古建築物の公開には、月例公開（毎月第1日曜日）と、春（ゴールデンウィーク期間）と秋（10月と東京都文化財ウィーク期間の土日祝日）に開催する特別公開。そのほか、哲学堂公園講座や、井上円了博士の哲学観を具現化した哲学堂77場について解説する公園ガイドなど
- 問合せ 哲学堂公園管理事務所03-3951-2515



毎月開催している哲学堂辻講釈。古建築物「宇宙館」内の霧田気と講談の妙味を楽しめる



哲学堂77場を案内する公園ガイド